

令和3年度広島市立舟入高等学校普通科国際コミュニケーションコース

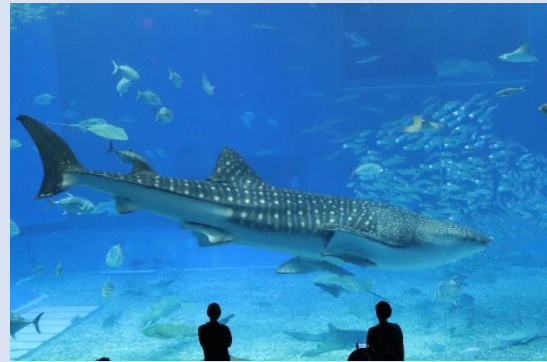
～修学旅行 沖縄・宮古島～

修学旅行 1 日目

期間:2021年12月15日(水)～12月19日(日)

目的:

- 1) 開放的で国際色豊かな風土が根付いた独自の文化を持つ沖縄についてより深く知ること、国際的なものの見方・考え方を身につける。
- 2) 第二次世界大戦で日本が受けた被害を異なる角度から学び、国際平和都市広島に学ぶに相応しい平和観を身につける。
- 3) SDGs の取組について、より体験的に深く学ぶ。



(左上：広島駅での出発式 右上：飛行機搭乗前 左下：美ら海水族館前 右下：美ら海水族館のシンボル)

日次	月日(曜日)	行程
1	12/15 (水)	※飛行機の時間・便・使用機材は変更になる場合がございます ANA1861 便 【昼食：機内にてお弁当】 広島駅 → 広島空港 → 那覇空港 → 美ら海水族館 → ホテル 9:00 10:00 11:30 13:30 14:10 15:50 18:00 19:30
2	12/16 (木)	【昼食】 ホテル → ひめゆり資料館 → 糸数塚 → レストラン → 佐喜真美術館 → 首里城 → ホテル 8:30 9:00 10:30 11:00 12:30 13:00 14:00 14:30 15:45 16:15 17:45 18:10
3	12/17 (金)	【昼食】 ホテル → うるま QUEST JOURNEY → ホテル 8:00 9:00 17:00 18:00
4	12/18 (土)	ANA1721 便 【昼食】 ホテル → 那覇空港 → 宮古空港 → ホテル → 宮古島サステイナブルマリン体験 → ホテル 8:00 8:30 9:35 10:30 11:00 11:30 12:30 13:00 16:30 17:00
5	12/19 (日)	※飛行機の時間・便・使用機材は変更になる場合がございます 【昼食：各自】 ANA1726 便 ANA1862 便 ホテル → タクシー研修 → 宮古空港 → 那覇空港 → 広島空港 → 広島駅 8:30 9:00 13:00 13:15 14:45 15:35 16:20 18:05 18:30 19:30

修学旅行 2、3 日目

2 日目は、糸数壕やひめゆり資料館、佐喜真美術館などの場所を訪れ、平和について学びました。

広島では、「核・原爆」という視点から平和を学ぶことが多いですが、沖縄では「地上戦」という視点から戦争の悲惨さや平和の大切さについて改めて学ぶことができました。暗い糸数壕の中を懐中電灯を握りしめて、戦時中の壕内での出来事をガイドの方から聞きながら歩きました。暗い洞窟の中で、痛みに苦しみながら亡くなった方々のことを思うと、胸が張り裂けそうな気持ちになった生徒も多かったと思います。

3 日目はうるま市に移動して、沖縄の伝統工芸である「紅型」体験と、沖縄で活躍されている若い講師の方々と対話形式でキャリア形成や沖縄の抱えている問題について学びました。どこの地域にも課題はあり、それを自分事として捉え解決していくことが大切である、ということを実際に行動を起こしている講師の先生方から教えていただきました。これからの世界を担っていく生徒達にとって大きなモチベーションとなる対話でした。うるま市でお世話になった皆さん、ありがとうございました。



(左上：うるま市での研修 右上：紅型の作品 左下：糸数壕前の説明 右下：紅型の作品交流会)

修学旅行4、5日目

いよいよ修学旅行も終盤。那覇から宮古島に飛行機で移動して、「宮古島サスティナブルマリン体験」を行いました。環境を守りながら、持続可能な旅行を促進するエコツーリズムの考え方を大切にしたマリン体験で、シーカヤックとシュノーケリングに挑戦しました。特にシュノーケリングでは、育成に時間のかかるサンゴをできるだけ保護する為に、サンゴに触れないようなシュノーケリングの泳ぎ方を指導していただきました。ゴーグルの曇り止めも人工的に作られた薬剤ではなく、自生している葉っぱの汁を絞って塗り込むことで、曇り止めの役割を果たしてくれました。また、4キロの長さを誇る伊良部大橋の上からはウミガメが海面で呼吸する様子が見られるなど、宮古島の豊かな自然を堪能することができたと思います。

4泊5日と、通常よりは少し長めの修学旅行でしたが、毎日充実した時間が過ごせたと思います。

平和学習とSDGsに関する学びを主軸にした沖縄・宮古島修学旅行で感じたこと、学んだことを心に刻み、残りの学校生活に生かしていきましょう！



(左上：シーカヤック 右上：シュノーケリング体験前の説明 左下：伊良部大橋での記念撮影 右下：自由企画のタクシー研修)